

令和6年度横浜市交通安全対策会議 会議録	
日 時	令和6年6月26日（水）午後2時～午後3時
開 催 場 所	市庁舎18階共用会議室みなと6・7
出 席 者	守屋弘毅委員、松沢英之委員、権藤由紀子委員、栗本高史委員、平中隆委員、五反田佐千子委員、高杉陽子委員、鈴木美緒委員、（石川教育次長：下田委員代理）
欠 席 者	山中竹春会長、嶋原謙二委員、磯貝靖子委員、下田康晴委員
開 催 形 態	公開（傍聴者0人、オンライン傍聴回数延べ7回）
議 題	1 オンラインでの傍聴（案）について 2 令和6年度 横浜市交通安全実施計画（案）について 3 その他 （1）横浜市の交通安全に関する主な取組について （2）各委員からの情報提供
決 定 事 項	1 議題1について承認され、議題2よりオンライン傍聴を実施した。 2 議題2について、承認された。 3 議題3（1）について、事務局から取組内容を説明した。 議題3（2）について、神奈川県警察交通総務課松沢委員、神奈川県くらし安全交通課守屋委員から情報提供があった。
議 事	1 オンラインでの傍聴（案）について （栗本議長） それでは、議題1について説明を。 （事 務 局） オンラインでの傍聴の趣旨と配信方法、周知方法について説明。 （栗本議長） 議題1 オンラインでの傍聴（案）について、意見、質問はあるか。  （意見、質問なし）  （栗本議長） 異議なしということでよいか。 （委員） 異議なし。  （オンライン傍聴を開始）  2 令和6年度横浜市交通安全実施計画（案）及び 3 その他（1） 横浜市の交通安全に関する主な取組について （栗本議長） それでは、議題2及び議題3（1）について説明を。 （事 務 局） 令和6年度横浜市交通安全実施計画（案）及び横浜市の交通安全に関する主な取組について説明。 （栗本議長） 議題2 令和6年度横浜市交通安全実施計画（案）及び議題3（1） 横浜市の交通安全に関する主な取組について、意見、質問はあるか。

(石川教育次長) 学校・教育委員会と道路局の連携した取組として、子どもの通学路交通安全対策事業の中で、令和5年3月にこども・交通事故データマップを作成、公開いただいた。新年度が明けて5月・6月までの間に全学校で通学路とそのデータマップを突合し、危険箇所の確認や、通学路の変更などを行った。

一番大きなところでは、実際に見守り活動の立つ位置の調整・変更など、様々な取組が学校で行われた。これまで慣例で立つ位置を決めていたところが、データに基づき、きちんと見守る場所を考えるということが行われるようになったので、これは継続していきたい。

また交通安全推進校では、昨年度の4校で様々な取組をしているが、授業の中でマップを活用する事例がある。例えば子どもたちがマップを基にまち探検をし、自分たちで安全マップを作成するといった活動をしている。また、出前授業の実施や、校庭を道路に見立てて交通安全教室を実施し、危ない場所の渡り方などを実技で教えるなど、様々な取組がある。

こうした取組を推進校だけのものにせず、全ての学校担当者が集まる学校安全研修において4校の取組を紹介し、よい取組が各学校に伝わるようにしている。今年度の交通安全推進校についても同じような取組を考えている。

今後もさらに道路局と連携をしながら、教育委員会としても、子どもたちの交通安全のために様々な取組を進めていきたい。

(鈴木委員) ビッグデータを用いているのが非常に先進的であるが、事故に至らないヒヤリハットも多く発生していると思う。マップには出てこないが、子どもたち自身が危険だと感じる場所について話し合うなど、本人の気づきを促す取組をしていただきたい。海外でも、子どもの安全教育にはアナログの話し合いが有効だと言われている。

(権藤委員) 区長の立場としてお話しさせていただくが、子ども通学路交通安全対策事業には大いに期待している。ハード・ソフト両面からのアプローチは非常に大切である。

旭区は都市計画道路の整備率が42%弱と、市内18区の中で最低ランクである。整備促進すべき狭あい道路も62km以上と、18区でずば抜けて1位という厳しい状況である。地域の方は交通安全対策に必死に取り組んでおり、区としても見守り活動に必要な物品を配布する等取り組んでいる。

スクールゾーン協議会についても、区として地域振興課や土木事務所

等の担当が入り、丁寧に要望に対応をしようと進めているが、警察と協議が必要なところなど難しい部分もあるので、データに基づいたというところは交渉材料となり、非常にありがたい。

交通安全推進校は昨年度の4校から、今年度は5校にプラス15地区で何らかの取組を道路局で実施いただけるということで、市内18区全てで入っていただけるというのは大変ありがたい。

事業の進捗状況等も教えていただきながら、区としてできることを一緒に進めていければと思っている。

引き続きよろしくお願ひしたい。

(五反田委員) 交通安全母の会は、はまっ子交通あんぜん教室として、市内の各小学で安全教室を実施している。1年生は初めて親から離れて1人での登校・通学の仕方、3年・4年生には自転車での走行の仕方を教えさせていただいている。私は戸塚を拠点としており、戸塚区内27校全てにできるだけ参加しているが、子どもたちに「黄色信号になったら皆さんどうしますか」と聞くと、「お母さんが早く渡るよ、と言うので急いで渡ります」と必ず答える。子どもたちを指導する保護者が、まず交通ルールを守っていただけたらと違っていいのではないかと思う。また、自転車は交通用具の中で最も利用価値の高い乗り物であるが、ヘルメットを着用している人がほとんどいない。どんなによい取組・事業を実施しても、なかなか浸透していかないと感じるので、若い保護者が理解しやすい方法はないのかと常々考えている。キッズクラブなどで交通安全教室を実施してもらったこともあるが、お迎えに来た保護者に対して15分程度でいいので、声をかけながらチラシを配るなど、取組をするなど考える。いい指導方法があれば教えていただきたい。

(高杉委員) 学校での保護者の方々への周知がなかなかできておらず申し訳ないところだが、保護者の立場として、いつも子どもたちのために登下校と通学路の安全を整えていただき心より感謝申し上げます。

データマップの公開については、学校で夏休みに向けて危険箇所のマップを作成し配布しているので、そのアップデートに活用させていただきたい。また、道路局において、地域の見守り活動を支援するためにはたふり誘導講習会を毎年開催いただきありがたく思う。

夏休みに向けて、保護者も巻き込んで連携し、地域の方にもお世話になりながら子どもたちの日中の安全も見守っていききたい。市PTA連絡協議会としては、350校以上の学校と連絡が取れる体制があるので、理事会等を通じて行政の取組を共有し、交通安全について協議しながら

話し合っていきたい。

(栗本議長) ほかに御発言ないようなので、令和6年度横浜市交通安全実施計画(案)については御提示の内容で確定ということでよいか。

(委員) 異議なし。

### 3 その他(2) 各委員からの情報提供

(松沢委員) 神奈川県及び横浜市内における交通事故発生状況、自転車の交通違反に対する青切符の適用について、それに向けたモバイルアプリの開発について情報提供。

(鈴木委員) モバイルアプリの開発といった新しいアプローチをされるのは非常によい取組であると思う。横浜市の場合、市民だけでなく市外からの来訪者も多いと思うが、事故件数のうち来訪者が占める割合は把握されているか。来訪者に対しても、そういったアプリなど周知ができるとよいと思う。

(松沢委員) 事故件数のうち市外からの来訪者が占める割合は、手元に資料がないが、以前調べた箱根町など県内有数の観光地においてはやはり御指摘のとおり来訪者が関係する事故が多いというデータがある。横浜市もみなとみらいなどがあるので、調べて今後の事故対策に生かしていきたい。アプリの周知は、インターネット上で広告のような形で表示させ、ダウンロードをしてもらえるように考えている。

(守屋委員) 県としては、青切符の対象となる16歳以上の高校生に自転車の法令を周知するため、県内の高校一年生に向けて自転車ルールブックを配布する予定である。

(五反田委員) 見守り活動をする中で、自転車を利用する若い保護者が、一時停止など自転車の交通ルールを守っていない姿をよく見かける。その保護者を見て育つ子どもたちも、交通ルールを守らない。そういった子どもたちが成長し大人になることで、交通ルールを守らない大人が増えていく。どうしたらよいのか、いい方法があれば教えていただきたい。

(事務局) 保護者向け交通安全教室の実施について説明。

	<p>(守屋委員) 2024 かながわ高校生自転車ヘルメットフォト&amp;デザインコンテストの開催について、情報提供。</p> <p>(栗本議長) ほかに御発言ないので、本日の議事はここまでとする。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第、委員名簿、横浜市交通安全対策会議条例</p> <p>(2) 【資料1】オンラインでの傍聴(案)について</p> <p>(3) 【資料2】令和6年度横浜市交通安全実施計画(案)</p> <p>(4) 【資料3】横浜市の交通安全に関する主な取組</p> <p>(5) 【資料4】情報提供資料(神奈川県警察)</p> <p>(6) 【資料5】情報提供資料(神奈川県)</p> <p>2 特記事項 特になし</p>